

専門・認定看護師委員会ニュース

NO.5 2015 春号 静岡赤十字病院

新年度がスタートして、2か月が経とうとしています。今年度もよろしくお願いします！

がん化学療法看護認定看護師(がん専門看護師) 浅場香

私は、8年前に「がん化学療法看護認定看護師」の資格を取得しました。現在は、「がん看護専門看護師」としての役割(2014年春号をご参照ください)もあり、がん相談支援センターの業務を中心にしながら、がん化学療法看護認定看護師としての看護も行っていきます。

がん化学療法看護認定看護師としてこの病院で行うべき看護は、「患者さんの苦痛が最小限となるような治療ができるように、看護提供システムを整えること」と位置づけ

資格を取得してから7年間は化学療法センターに所属していましたが、現在は薬事委員会「抗がん剤・抗生剤適正使用検討部会」、「化学療法センター運営委員会」等の委員会の場を通して、看護部のメンバーとして活動しています。

具体的な内容としては、化学療法プロトコール登録時の監査を薬剤師とともにやり、看護師が実際に抗がん剤を投与する際に必要な情報が指示簿に記載されているように情報を整理したり、抗がん剤の職業性・非職業性暴露対策をどのようにすすめていくことがよいか検討しています。

また、化学療法をうける患者さんの苦痛が最小限となるように、「症状のつらさ質問表」等の苦痛のスクリーニングを行い、看護を効率よく効果的に提供できるような看護提供システムを化学療法センターや

様々な病院の化学療法に関わるチームを見聞きする機会がありますが、当院のよさは他科の医師が協力しあったり、企画課システム係や医事課など事務部門の協力があることなど、それぞれの専門職がお互いの専門職性を活かしていることにあります。

化学療法が発達し、治療を適切にうけることで生存期間が延びてきました。患者さんが、化学療法の期間を耐え忍ぶのではなく、化学療法を上手にうけることでがんとうまく折り合いをつけて生活し、生きる力を取り戻すことができるように、チームの一員として貢献していきたいと思っています。

今年度は「がん化学療法看護」を系統的に学ぶ研修を計画しています。詳細が決まりましたらお知らせしますので、どうぞご参加ください。



糖尿病看護認定看護師 柿宇土敦子・高橋倫世

はじめよう！ フットケア

糖尿病看護認定看護師

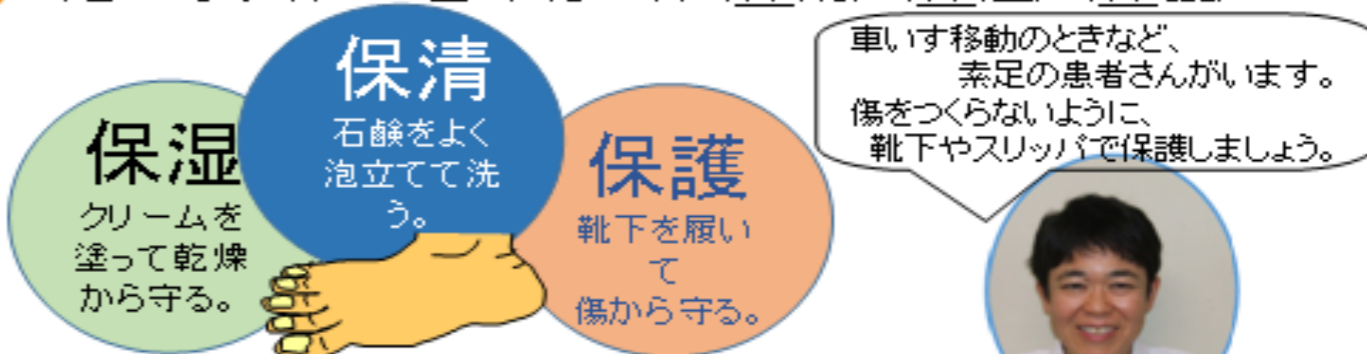


外来 柿宇土敦子

爽やかな季節となりました。みなさん衣替えはもうお済みですか？足元もサンダル、スニーカーと素足、素肌を露出する機会も増えてきそうですね。手や顔の乾燥肌は気になって、足の乾燥は無頓着になっていませんか？今回は、糖尿病や末梢血管障害のある患者さんの足のケアとフットウェア外来についてご紹介します。



足の手入れの基本は3保<保清><保湿><保護>



7-3病棟 高橋倫世



健側の足のケアも重要！創傷のある足への関心は患者も看護師も高いのですが、健側の足へも3保を心掛けて欲しいのです。糖尿病や末梢血管障害のある患者では足に傷をつくらぬ**予防的フットケア**が大切！



フットウェア外来とは？足のトラブルは、自分の足に合わない靴を履くことが大きな原因になっています。フットウェア外来では義肢装具士という専門の技術者が、足型を取って、その人にあったオーダーメイドの靴やインソール(中敷き)を作成しています。

〔フットウェア外来: 第2・4月曜日PM〕
※フットケア外来の中で行ってます

フットケア外来メンバー(形成外科にて)



編集後記

今回はがん化学療法看護と糖尿病看護のCNの紹介をさせていただきました。どちらのCNも患者さんに寄り添ったケアをしてくださいます。ぜひ活用してください。 摂食嚥下障害看護認定看護師 増田